




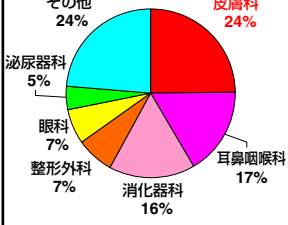
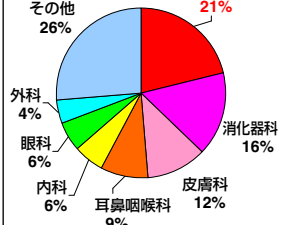
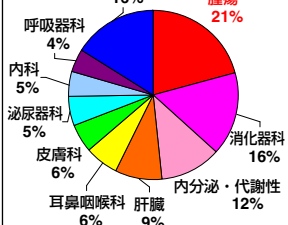
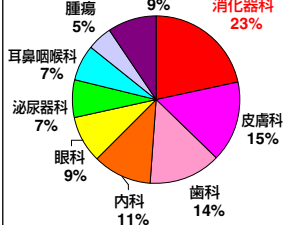
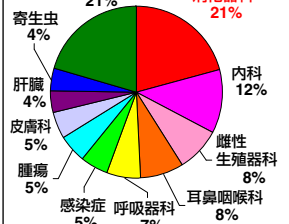


動物ごとにかかりやすい病気って違うの？

人も動物も同じ命。でも、食べるものや生きてきた歴史も違うから動物ごとにかかりやすい病気は違います。健康な日々の観察と予防を心がけて下さい。

いぬ 	ねこ 	フェレット 	うさぎ 	とり 
				
<p>皮膚病は外から見てもわかる病気なので、日頃からのスキンシップを沢山とることが早期発見につながります。最近ではアトピーなどのアレルギー性皮膚炎が増えています。皮膚病では薬用のシャンプーでスキンケアが効果的な場合が多くありますが、間違ったスキンケアはかえって症状を悪化させてしまうケースがあります。獣医師にご相談下さい。</p>	<p>かかりやすい病気は、膀胱炎や尿道閉塞などの泌尿器疾患、つまりおしっこの病気で冬は水を飲む量が減るので特に気をつけましょう。中でも去勢している男子は要注意！頻繁にトイレに行ったり排尿の姿勢をとっているのに出ない時は早めに尿検査に行くことをおすすめします。尿道閉塞は悪化すると命にかかことがあります。</p>	<p>特にフェレット多いのは、副腎に腫瘍ができる病気です。副腎とは、腎臓の脇にあるホルモンを出す器官で主な症状はシッポの脱毛や陰部の腫れなどですが、脱毛は背中、脇から頭の方に広がっていく場合が多くみられます。まれに強いかゆみができることもあります。アダルト～シニア世代で多いといわれていますが、1歳でも発症する場合があります。</p>	<p>消化器疾患といっても食欲がないという来院理由が多くおもな原因は不正咬合、消化管うっ滞、毛球症の3つの病気であることもあります。不正咬合は奥歯を使わない半生タイプの食事をしている子に多くいます。食欲をなくす前に歯ぎしりをする、よだれをたらすなどの症状が出る場合がありますので、思い当たる時は、歯科検診をおすすめします。</p>	<p>小さな鳥たちは自然界では捕食される弱い立場にあります。体調が悪いと肉食動物に狙われやすくなるため鳥は自分の病気を隠して元気でふるまうように振舞ってしまいます。鳥が食欲不振などの症状が現れる時には、病気がかなり進行してしまっていることが多いです。いったん症状が出たら様子を見るのではなく、できるだけ早く診察を受けることをおすすめします。</p>